

東京都八丈島八丈町教育委員会 殿

学 校 名 東京都八丈島八丈町立三原小学校

校長氏名 記野 邦彦 公印

令和6年度教育課程について（届）

このことについて、八丈町立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

人権尊重の精神を基調とし、豊かな心と生涯にわたって学び続ける態度を培い、確かな学力と正しい判断力、主体的な行動力と高い社会性を身に付け、地域社会や国際社会に貢献できる児童の育成を図るため、次の目標を設定する。

- 心ゆたかで、思いやりのある子供
- ねばり強く学習する子供
- すすんで体をきたえる子供

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 目指す学校像を「明るく、賢く、たくましく、『生きるよろこび』あふれる学校」とし、児童一人一人のキャリアプランを児童、保護者と共に考えるとともに、児童の資質と能力を高めるため、コミュニケーション能力、学力向上、自律性、探究心、情報活用能力、創造力、共生的な態度の育成を目指す。

ア 「人権尊重教育の精神」の育成

- ・ 人権教育全体計画・年間指導計画に基づき、全教育活動を通じて人権尊重の精神を養う。
- ・ 言語によるコミュニケーション能力を育成し、児童相互だけでなく、障害者や高齢者、外国人等との交流を通してインクルーシブ教育を推進する。
- ・ 教科・領域において、思いやりの心、「いじめは絶対に許さない」という心、自己肯定感を育て、他者とともに生きるよろこびを大切にできる児童を育成する。
- ・ 八丈町いじめ防止基本方針に基づき、スクールカウンセラーや関係諸機関と連携をとりながら、いじめの早期発見・早期対応に継続的・組織的に対応し、いじめの問題解決や未然防止に取り組む。

イ 学力の向上と個性及び想像力の伸長

- ・ 教職員一人一人が育成する能力を明確にしたうえで、児童に効果的な指導方法や教材等の工夫・改善を図るとともに、自主的な学習の習慣を付けさせることで、生涯を通じて学ぶ意欲を高める。
- ・ 個に応じた多様な指導を工夫することで基礎・基本を定着し、活用する能力の向上を図るとともに、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促し、中学校修了時の児童・生徒の望ましい姿を三原中学校と連携し、一貫した教育を目指す。
- ・ 言語活動やプログラミング教育を意図的・計画的に取り入れた主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を行い、児童同士であるいは多様な他者と協働しながら異なる考えを尊重する「協働的な学習」を充実させる。
- ・ 児童の意欲や学習状況を的確に把握し、家庭と連携して、個に応じた学習習慣の確立を図る。また、社会的事象や自然的事象に常に目を向けさせる指導を通して、生涯にわたって主体的に学び続ける態度を養う。

ウ 自律性と判断力の育成

- ・ 自ら考え正しく判断し、主体的に行動する児童を育成するため、社会体験や自然体験及び様々な交流活動の場を計画的に設定し、社会生活の基本ルールや規範意識を身に付ける指導を実施する。

エ 体験学習の重視

- ・ 年間指導計画に基づいた計画的・系統的な体験学習や問題解決的な学習を充実させることによって、児童一人一人の学習意欲と探究心を高め、学ぶことの楽しさや成就感を実感させるように努める。

オ 情報活用能力の育成

- ・ 学年の発達段階に応じて情報を活用する学習場を教科・領域に取り入れ、基本的な操作や情報モラルを身に付け、情報手段を活用できるなど、学習の基盤となる資質・能力を育てる。

カ 創造力の育成

- ・ 自由な発想の基に様々な事象に対して課題意識をもち、試行錯誤して解決させることのできる場を設定し、プログラミング的思考や創造力の育成を図る。

キ 共生的な態度の育成

- ・ 特別の教科 道徳の授業を中心として、全教育活動の中で自他を大切にする、心の教育を推進する。
- ・ 日本の伝統文化理解を学校 2020 レガシーとし、八丈島の伝統文化を理解・体験するとともに、日本に伝わる伝統文化についても理解を深め、視野を広げる教育を推進する。

ク 健康・安全教育の充実

- ・ 生涯にわたり健康・体力を増進する態度を育成するために、心と体の健康づくりと体力の向上を推進する。
- ・ 児童が健全な食生活・食習慣を身に付けることが出来るように食育を充実させる。
- ・ 計画的に安全教育、性教育を推進し、自他の生命を大切にする心と危機管理意識を高める。

ケ 特別支援教育の推進

- ・ 全児童の発達段階及び実態を学校全体で的確に把握し、長所を伸ばさせるとともに、個々のニーズに応じたきめの細かい指導・支援を行う。また、関係諸機関と密接に連携・協力しながら推進する。

コ 地域社会との連携と社会貢献の精神の育成

- ・ 八丈島の自然・伝統・文化に親しみ、地域を愛し社会に貢献し奉仕する児童を育てるために、家庭や地域社会、関係諸機関に積極的に働きかけるとともに、学校評議員会（学校関係者評価委員会）の外部評価を取り入れるなど、地域の教育力を活用する。
- ・ 児童の社会性・道徳性の育成を目指した教育及び環境保全・自然保護に取り組む環境教育を推進することで「島を誇れる児童、島が誇れる児童」の育成を図る。
- ・ 保護者や関係諸機関等と連携し、虐待を早期発見・早期対応するために、虐待防止対策の推進を図る。

サ 保育園及び中学校との連携の推進

- ・ 小中一貫型教育校としての教育カリキュラムの実践と検証、改善に努めるとともに、三原大運動会等の小中合同の行事を通して互いを尊重し、協力し合える集団を形成することで、生きるよろこびあふれる学園にしていく。
- ・ 保育園及び中学校と連携し、基本的な生活習慣の定着と家庭学習の習慣化に向けた指導を行うとともに、学力の向上や系統的・発展的な学習の充実、文化的な交流を図る。

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ・ 様々な社会の変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成し、主体的な学びや対話的で深い学びを行う場の構築をする。
- ・ プログラミング教育を学習の中に取り入れ、計画的に児童の論理的思考力を身に付けさせる。
- ・ 全国学力調査の調査結果を基にした授業改善推進プランの作成・実施などにより各教科の基礎的・基本的な学力の一層の定着を図るとともに、児童の学習傾向を理解し、授業力の向上及び授業改善を図る。
- ・ 少人数を生かして個に応じた指導の工夫と、きめ細やかな指導により学力向上を図るとともに、児童一人一人が学び方を学べるように個を見とり、指導・助言を行う。また、地域人材を活用した授業、中学校との協力授業、交流授業を推進し、より児童の意欲を高める。
- ・ すすんで運動に親しむことができる児童を育成するとともに、体力調査等の分析を通して課題のある運動を向上させる。また、遠泳・持久走大会・縄跳び月間等での体育的活動を充実させ、児童の運動に対する意欲の向上と体力・健康の向上を図る。
- ・ 体験的な学習や問題解決的な学習を通して、児童の興味・関心を高め、主体的に学習する態度を育成するとともに、個々の発達段階に応じた情報選択や情報活用能力を身に付けさせる。
- ・ 高齢者や障害者、外国の生活や文化に慣れ親しむ体験活動を通して、すすんでコミュニケーション能力を育成することで、人権尊重の精神を育む。
- ・ 地域の自然や文化、人や物に目を向け、地域に根ざした教育活動を全教育活動で展開することにより、すすんで環境保全や自然保護に取り組む態度を養う。
- ・ 一人1台端末や他のICT機器の活用を推進し、視覚的に分かりやすくするとともに、個別最適化した授業を行う。

イ 特別の教科 道徳

- ・ 道徳教育推進教師を中心として、「特別の教科 道徳」の授業方法の改善を行うことにより、一人一人の道徳的判断力や道徳的実践力を高め、自己の生き方について考えを深め、人間尊重の精神を養い互いに認め合い協力し合う児童を育成する。
- ・ 学年(学級)を基盤としながら、学校全体で教師と児童、児童と児童との人間関係を深め、心の教育を推進し、思いやりのある温かい校風を築くとともに、自他の生命尊重の精神を養う。
- ・ 道徳授業地区公開講座においては身近に感じられる題材を取り上げ、児童・保護者・地域が共通の話題で考えを深め、道徳的な価値観を広げたり、共有したりできる機会とする。

ウ 外国語活動

- ・ 担任とALTが連携し、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図るための素地となる資質・能力を育てる。
- ・ 高学年の外国語への接続と発達段階に応じた指導を、外国語指導担当者を中心にすすめていく。

エ 総合的な学習の時間

- ・ 各教科等で身に付けた知識や技能を生かし、教科横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。
- ・ 地域人材の活用を図り、八丈島の自然・文化を生かした課題づくりや八丈方言にふれる学習を通して児童一人一人が地域の一員である自覚を養い、郷土に対する愛着や誇りを育む。

オ 特別活動

- ・ 学級活動や縦割り班活動、きょうだい学年の活動等の望ましい集団活動を通して、集団の一員としての自覚を高めるとともに、自分の考えを表現する力を高め、自主的・実践的な態度を養い、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
- ・ 運動会、遠足、クラブ活動、交流集会、栽培活動、小中交流授業等の異学年交流や異校種間交流を通して、一人一人の個性や能力を生かし、集団の一員としての自覚を深め、社会性を育てるとともに豊かな人間関係を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ・ 全校縦割り班による栽培活動や収穫祭等の勤労体験を計画的に実施し、思いやりの心、互いを認め合い協力する態度、命や自然を大切にすることの心情を養う。

- ・ 地域の老人会や自治会等と連携して高齢者や地域の方との交流を通じて、郷土愛を育てるとともに、人々にふれあうことで自分を大切にすることと人も大切にすることを養う。
- ・ 朝の15分間に読書、漢字、計算等の学習の場を設定し、基礎学力の定着を図る。
- ・ 図書ボランティアを活用し、毎月1回の読み聞かせを全学年で実施するほか、図書の紹介等で読書へ関心を高めていく。また、読書会や親子読書週間での読書指導を通して、読書の楽しさを味わわせ、豊かな情操を培う。
- ・ 行事を通じた保育園、中学校との交流を推進し、保小中の指導者間の連携と児童・生徒間の学びの交流を推進し、体育的活動や文化的活動の充実を図る。
- ・ 食育リーダーを中心に食育啓発授業等を計画的に進める。地域人材を活用し地域に根ざした食育の推進を行う。また、給食試食会や収穫祭により児童や保護者の食への関心を高め、協力して望ましい食習慣の確立を目指す。
- ・ 学校2020レガシーとして八丈島に伝わる様々な伝統文化を理解・体験するだけでなく発信する能力も育成する。また、日本の伝統文化についても理解を深め、体験することを通して、日本人としての誇りをもたせる児童を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・ 児童一人一人の個性を尊重するとともに、児童の心に寄り添うことを通して、教師と児童の信頼関係を築く。
- ・ 学校内及び家庭・地域における相手や場に応じた言葉づかい等の定着を図るため、小中で連携した校内の言語環境（話し方ルール）を整える。また、基本的行動様式の徹底した定着を図るとともに、社会生活の中での基本的なルールやマナー、規範意識を育成する。
- ・ 学校をはじめ、地域や訪問先で、すすんで挨拶できる児童を育成するため、あいさつ月間の実施、児童会での啓発活動をすすめる。また、家庭とも連携し、挨拶の定着を図る。
- ・ いじめのない楽しい学校を築くために、いじめの未然防止、早期発見・早期解決・早期対応、重大事態への適切な対応に努める。八丈町いじめ防止基本方針や学校いじめ防止基本方針を基に、実態把握のためのアンケートや個別面談、スクールカウンセラーによる全員面接を実施する。校内研修会を実施し、学校いじめ防止対策委員会を中心に校内の教育相談体制を充実させる。
- ・ 学校全体で日常的に個々の児童の課題を早期に発見し、不登校の未然防止に努めるとともに、複数学年での指導や面談週間等、不登校の対応も含め、一人一人に目を向けた指導や相談活動を活性化させる。また、月1回の校内委員会やケース会議、毎週の生活指導夕会を実施し、児童の状況について教員間の情報共有を図る。学校サポートチームを編成し、特別支援コーディネーター、町の教育相談員やスクールカウンセラー、関係諸機関と連携して組織的で速やかな対応を行う。
- ・ 三原学園内で児童・生徒の情報交換と研修を定期的に行い、小学校から中学校への滑らかな接続と、9年間を通した生活指導の充実を図るとともに、近隣保育園との連絡会を通して子供や家庭の情報共有を図る。
- ・ 「三原っ子宣言」（挨拶、返事、話を最後まで聞く、学習の準備、姿勢、鉛筆・箸の持ち方）を設定し、誰もが身に付くように指導する。また、生活スキルを向上させる指導を通して、善悪の判断ができ、自主的・主体的に行動する態度を育成するとともに、社会性、道徳性を育成する。
- ・ 学級での指導・避難訓練・セーフティ教室・安全マップ作り等を通して、校内・校外における安全教育の徹底を図る。また、インターネット上のトラブルに巻き込まれないよう家庭と連携し、SNS八丈ルールや端末の利用ルールの徹底を図り、情報モラル教育を推進する。
- ・ 「SOSの出し方に関する教育」や「生命（いのち）の安全教育」を行い、「自分を大切にすること」「身近にいる信頼できる大人に相談できること」「性暴力の加害者、被害者、傍観者にならない」等を指導していく。
- ・ 「性に関する教育」を行い、児童が性に関して正しく理解し、適切な行動が取れるようにすることにより、価値の多様化に対応できるようにする。

イ 進路指導

- ・ 三原学園内で連携し、一貫したキャリア教育の推進を行うとともに、キャリアパスポートを活用し、具体的に自分の将来を思い描き、努力しようとする姿勢を育てる。
- ・ 自らの夢や目標に向かって歩み、自己実現に向けてねばり強く努力する児童を育てるとともに、望ましい勤労観を育成する。
- ・ 八丈島の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して、自らの生活を見つめ直し、自他のよさを認めることで、さらに向上しようという意欲を高める。